

登録番号 第 23677 号

タチガレファイト[®]液剤

- 1成分で苗木枯病、ムレ苗を的確に防ぎます。
 特長： ●根の生育促進効果で、健苗が得られるため、水ストレス、除草剤による薬害の影響を受けにくくなります。
 ●複合肥料を配合(登録番号 生第101120号)。

有効成分	ヒドロキシイソキサゾール・・・16.5%	包装	500ml×20
性状	黄赤色澄明水溶性液体	有効年限	5年
毒性	普通物 [*]	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害及び使用方法】

2023年2月22日付内容

作物名	適用病害虫名/ 使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根及び活着促進	500～600倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 500～1000mL	は種時 及び 発芽後	2回以内	土壌 灌注	3回以内 (移植前の土壌混和は1回以内、 移植前の土壌灌注 及び灌注は 合計2回以内)
		300倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 500mL				
	苗木枯病 (フザリウム菌) 苗木枯病 (ピシウム菌) ムレ苗防止	250～300倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 500mL				
		500～600倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 500～1000mL				
	ごま葉枯病	250倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 500mL	は種時	1回		
キャベツ	ピシウム腐敗病	1000倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはパポット1冊 (30×60cm、使用土壌 約3.0～4.0L) 当り 0.5L	出芽時 ～育苗期	3回以内	土壌 灌注	3回以内
きゅうり	苗木枯病 (ピシウム菌)	500倍	3L/m ²	は種直後	3回以内	土壌 灌注	3回以内
メロン	苗木枯病 (ピシウム菌)	500倍	3L/m ²	は種時	1回	全面土 壌灌注	1回

作物名	適用病害虫名/ 使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数
すいか	苗立枯病	500 倍	3L/m ²	は種直後	1 回	苗床 灌注	2 回以内 (育苗土壌への混和は1回以内、 苗床への灌注は1回以内)
オクラ	苗立枯病 (ピシム菌)	300～1000 倍	50mL/株	は種時 ～発芽初期	2 回以内	植穴又 は株元 灌注	2 回以内
てんさい	苗立枯病	500 倍	ペーパーポット 1 冊当たり 1L	は種時 ～生育初期 但し、収穫 120 日前まで	3 回以内	灌注	5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 育苗土壌への 混和は1回以内、 灌注は3回以内)
			3L/m ²				

使用上の注意事項

- (1) 使用前によく振ってから使用すること。
- (2) 使用量が多すぎたり濃度が高すぎた時、場合によっては初期生育が一時抑制されることがあるので、濃度や使用量を誤らないように注意すること。
- (3) ムレ苗防止に使用する場合、本剤は育苗中の低温による根の吸水低下や高温による蒸散増加など、吸水と蒸散の不均衡によって起こるムレ苗（生理的な急性萎凋障害）に対して有効であるので、このようなムレ苗の発生する地域で使用すること。
- (4) 本剤をオクラに使用する場合、希釈液を乾燥した土壌に灌注すると薬害（生育抑制）を生じるおそれがあるので、は種前には十分な灌水を行うこと。
- (5) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 有毒ガスが発生するので、石灰硫黄合剤との混合は絶対にしないこと。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- (3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。